

## JFA第49回全日本U-12サッカー選手権大会 大阪府大会 中央大会 大会規定

1.大会名	JFA第49回全日本U-12サッカー選手権大会 大阪府大会 中央大会
2.主催	公益財団法人日本サッカー協会 公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社 一般社団法人大阪府サッカー協会
3.都道府県大会特別協賛社	YKK 花王
4.都道府県大会協賛社	日本マクドナルド 日清オリーブグループ ゼビオ
5.開催協力	モルテン
6.中央大会日程	2025年11月22日(土)～11月24日(月)
7.中央大会会場	Jグリーン堺 ピッチ番号未定 ※会場変更の場合もある。
8.中央大会参加費	1チームにつき5,000円を中央大会初日に徴収する。
9.中央大会抽選会	2025年11月開催予定 抽選 19:00開始 代理抽選可 開催日と会場は未定 別途案内する。
10.中央大会競技方法	トーナメント方式で実施。
11.中央大会出場チーム	32チーム
12.上位大会	大阪府大会 優勝チームは JFA U-12全日本サッカー選手権大会 全国大会への出場権を有する。大阪府大会 第2位 第3位の2チームは KSAFU-12関西大会への出場権を有する。KSAFU-12関西大会規定はOFA第4種委員会大会規定とは異なる。(#27ユニホーム ⑥項 #B)に記載しているKSAFU関西大会規定を必ず遵守すること。
13.競技時間	試合時間は40分(20分-5分-20分)とする
14.競技人数	8名 (試合開始時に6名以上で試合成立とする)一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。
15.選手の参加資格および次年度チーム参加について	6年生以下の選手。 今年度の各種大会に参加した中で不備等が多数発生したチームに対する次年度対応は4種委員会が協議してOFA執行部の審査を経た結果を告知する。当該チームはその告知に従う義務を負う。
16.大会期間中の選手移籍	①選手個人のチーム移籍自体を制限しない。チームを移籍して1人の選手が同一大会へ再度(2度以上)出場する事だけを承認出来ないものである。 ②移籍をした1人の選手が同一大会に移籍元と移籍先を併せて再度(2回以上)出場しない事が遵守されていれば規定違反ではない。選手個人のチーム移籍自体を制限しない。 ③選手移籍と大会出場に関する個別の事案に対して状況確認の上で審議する。④項の定めを基本とする。(審議により出場可能となり、当該審議結果を4種委員長が承認すれば出場出来る) ④同一大会(全日中央大会)に同じ選手(A)が(甲)チームにて出場して1度自地区の予選等で敗退したが、その後同じ選手(A)が他地区にて全日地区予選で勝ち上がっている(乙)チームへ移籍して出場する事や、選手(A)が全日中央大会へ進出している(丙)チーム等に移籍して出場する事は承認出来ない。チームを移籍し同一大会へ再度(2度以上)出場する事だけを承認出来ないものである。 選手個人のチーム移籍自体を制限しない。 ⑤全日リーグ期間中の移籍には4種リーグU12規定(21項)③対応を必要とする。
17.チーム役員参加資格(全国大会のJFA通過事項)(47FA対応方法はJFA確認中)	①チーム役員は「参加チーム」を掌握または指導する責任のある者であること。 ②ベンチ入りするチーム役員のうち、戦術的な指示やコーチングを行う者(監督・コーチ等)は全員がサッカー指導者ライセンスのDライセンス以上を有し、 ③かつ少なくとも1名はCライセンスを有すること。 ④また試合時には、Cライセンスを有するチーム役員が1名以上ベンチ入りすること。 ⑤テクニカルエリアからの戦術的な指示を伝える権限は、一度に1人だけに与えられている。 [JFA通過/ベンチ入り指導者ライセンス規定]
18.ベンチ・テクニカルエリア	①チームベンチには指導者3名までと登録選手のうち16名のみとする。(合計19名以内とする) 指導者3名はテクニカルエリア内では責任ある態度で行動しなければならない。 ②指導者3名は競技中(試合中)にテクニカルエリアより主審の許可なくベンチ内への立ち入りは認められない。交代選手も同様とする。(得点の喜びの際ピッチ立入は禁止する) ③テクニカルエリアからの戦術的な指示を伝える権限は、一度に1人だけに与えられている。ベンチ、テクニカルエリア内での集合写真や試合中の動画、静止画共に撮影は認められない。
19.競技規則	(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。
20.棄権(書類不備も含む)	棄権が生じた際のスコア0-99とする。ただし、これにより得点などで順位に影響を及ぼす場合、棄権チームとのスコアは全て削除する。 審判不履行などの大会運営に重大な支障をきたしてしまった場合、その指導者のチームの試合を不戦敗(0-99)とする。またこの結果で順位に影響のある場合は上記の通りとする。
21.警告	大会期間中(中央大会)、警告の累積が2回になった選手は次の試合に出場できない。
22.退場	退場を命じられた選手は最低次の試合を出場停止とする。(その後の処置はOFA4種委員会、OFA執行部、OFA司法機関規律委員会にて審議して決定)
23.メンバーチェック	試合開始30分前までに本部【選手証】【メンバー表】【申し送り】のチェックを行う。【選手証】とは電子登録証カラーコピーであり、携帯電話などの画面での確認は不可とする。 【選手証】【メンバー表】と当日の選手チェック時の選手の整列順は全て同じになるように揃えておくこと。
24.アンダーシャツ	上着の袖の下から見える場合袖の主たる色と同色であることとする。
25.アンダーショーツ	ショーツ下から見える場合ショーツの主たる色または裾と同色であること、またショーツの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
26.背番号・胸番号	シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が縞柄等であって明確な識別が困難なときには、台地を付ける)かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。選手番号の数字は服地の色に緑取りだけの表示は認めない。
27.ユニフォーム	①FP・GK(シャツ・ショーツ・ソックス)はそれぞれ別色の正副の2着を用意する。正「濃色(暗く深い色合い)」、副「淡色(明るく薄い色/白色もしくは白色に近い色)」と規定する。 正副共に「濃色」は認めない。正副共に「淡色」は認めない。 ②ユニホームとはFPで番号以外は全く同じもの、GKで番号以外は全く同じものとする。(ただし、メーカーロゴの変更や移動のみの場合はその限りではない) ③GKは正・副ともFPと別色の2セット必要(GKユニフォームのビブスは認めない。正・副ともに背番号・胸番号が必要) ④カーソックスを使用する場合は下にはソックスはカーソックスと同色のものとする。ベンチ選手、指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ピブスや別色のウェアで対応すること) ⑤(#A)GKがFPとして出場する場合、又は、逆の場合の背番号は固有番号で有れば、必ずしも一致しなくてもよい(正副の番号は一致しなくてもよい) ただし、事前にメンバー表にそれぞれの背番号を記載しておくこと (#A)のユニホーム背番号規定は4種委員会独自規定であり「JFA U-12全日本サッカー選手権大会 全国大会」の規定は(#A)とは異なるので全国大会規定を遵守すること。 ⑥(#A)のユニホーム背番号規定は4種委員会独自規定であり「KSAFU-12関西大会規定」とは異なる。(#B)関西大会では「1大会=1選手=1背番号」「1選手=複数背番号不可」と規定されているので関西大会の規定を必ず遵守すること。 ⑦テーピング等ソックスの上に着用する場合は着用するソックスの部分と同色のみ認める。 ⑧ユニホームに広告表示がある場合はJFAからの「回答書」を持参しておくこと。「JFA回答書」提示がない場合、JFA、OFA4種各規程、大会規定によりOFA4種委員会大会での使用は認められない。 ベンチ入りメンバーは指導者3名と登録選手のみ、交代の人数制限なし。ベンチ入りメンバーの中で人数制限なし自由な交代ができる(主審の許可を得ず交代ゾーンから行う) GKが交代する場合は主審の許可を得る。
28.選手交代	1人制で行う(主審・補助審判ともに有資格者が行うこと) ユース審判員に関しては協会派遣の場合及び、アクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審、補助審判を認める。通常のユース審判員は認めない。 正規の審判服を着用すること(アンダーシャツ・アンダーパンツは同色または黒のみ認める) 審判証(写真貼付き)、ワッペンの不携帯で審判を行うことはできない(電子登録証のカラーコピー可)
29.審判	3人制で行う(両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、交互に順序を変えることなく、キックは続けられる。)
30.PK方式	なし
31.延長戦	なし
32.大会規律委員会	本大会においては、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。会場責任者の指示に従わない場合、駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破壊等の問題があった場合、大会規定違反があった場合、予期せぬ問題が発生した場合。この場合、大会規律委員会にて対応方法を検討決定し、その対象チームは対応方法決定事項を遵守しなければならない。なお、当該チームの保護者の行為も含まれるので、その啓発及び周知徹底の義務を有する。第4種委員会「観戦&応援ルール」を遵守する義務を有する。 [観戦&応援ルール]
33.落雷、荒天等による再試合	落雷、荒天や選手の怪我などの場合運営側は人命最優先とし、それらにより試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。その判断は会場責任者が行う。参加チームは会場責任者の判断に従うこと。 試合中に中断した場合は残り時間を再試合として実施する。 再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、アウトオブプレーの場合はその場所から再開する。再試合時の審判、出場選手は中断時と同一が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる。 サッカー活動中の落雷事故防止について
34.肖像権	一般社団法人大阪府サッカー協会に認められた提携写真事業者によって撮影された写真が「参加者向け写真販売サービス(ウェブサイトを通じた通信販売を含む)」を行うことがある。 一般社団法人大阪府サッカー協会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放送及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。これらの肖像権に関する事項は大会参加申込として大会エントリーをした時点で、上記取扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
35.撮影機器の使用	各会場の指示に従うこと。(観見人工芝はスタンド、J堺、万博FA、四条畷FAはフェンスの外) ベンチを含むテクニカルエリア内での集合写真や試合中の静止画、動画共に撮影は認められない。
36.その他	①中央大会日程のバス日は従来通り出来ないこととする。 ②負傷者については各チームにて対応し、主催者、管理者及び会場責任者は一切の責任を負わない ③大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していること ④各会場本部役員及び各会場提供責任者は、AEDの設置場所の確認に努める。 ⑤ベンチ入りスタッフは小学生年代の指導者として相応しい服装・態度であること ⑥テクニカルエリア内でのテントの使用は認めるが、傘の使用は認めない ⑦会場責任者の指示に従わない場合、駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破壊等の問題があった場合、レギュレーション違反があった場合、予期せぬ問題が発生した場合上記の場合、OFA4種委員会、OFA執行部司法機関で規定に準じて懲罰を決定する。その対象チームは決定した懲罰を遵守しなければならない。なお、当該チームの保護者の行為も含まれる。 ⑧補聴器等の装置を着用しての試合出場について当該選手・大会主催者、審判団・対戦相手チームの両者間に両者全員が着用について事前に同意した事とする。事後に異議を表明する事を禁ずる。 ⑨本レギュレーションは適宜改訂、改善をしていくものとする 補聴器等の装置を着用しての試合出場について